

ひょうご 子ども未来通信3月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



平成23年度県予算案 少子対策・子育て支援を充実強化

県では、2月14日、一般会計総額2兆1285億円となる平成23年度予算案を発表しました。

少子対策・子育て支援に関連する予算額は、こども医療費助成の拡充や、「まちかど子育て相談員」の養成、「子育て“情報楽座”」の開設支援や児童虐待対策など約854億円で、同予算案は、現在開会中の第308回2月定例会議での議決を経て成立となります。



平成23年度予算案を発表する井戸知事

<23年度の少子対策・子育て支援関係の主な事業案>

()は23年度予算額

子育て版ケアマネジャー 「まちかど子育て相談員」 を200名養成!

子育て家庭の相談に乗り、どのような子育て支援サービスを利用したいかを把握。その家庭にふさわしい支援サービスのメニュー作成など、きめ細かいサポートを実施します。

(5,067千円)



~子育て支援活動の情報基地~ 「子育て“情報楽座”」 150か所開設を支援!

中高年や子育てを終えた方が子育て支援活動に気軽に参入できるよう、子育て支援情報の提供や、子育て支援を行いたい人と子育て支援グループとの出会いの場づくりを進めます。

開設場所：子育て支援NPO、
子育てほっとステーション、
県民交流広場 など
(5,287千円)

こども医療費の助成を 通院医療費まで拡大!

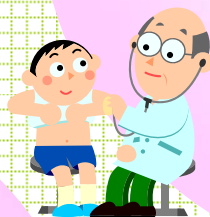
病気やけがで医療保険による給付が行われた場合に、その自己負担額の一部を助成します。これまでの入院に加え23年10月からは通院についても助成の対象となります。

事業	対象	助成内容
入院医療費	小学4年~ 中学3年	自己負担額の1/3を助成 (公費負担割合：県10/10)
新通院医療費	小学4年~ 6年	自己負担額の1/3を助成 (公費負担割合：県1/2,市町1/2)

(所得制限あり)

医療費の助成を受けるには、お住まいの市(区)役所、町役場で助成を受ける手続きが必要となります。

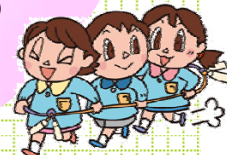
(276,802千円)



保育所の新設・増設・定員 見直し等により23年度2500人の 定員を増加!

保育需要に対応するため、保育所の新設や増改築、都市部における賃貸物件による保育所や分園等の整備を推進します。

(新設14か所 定員増15か所)
(2,628,551千円)



仕事と生活の両立 支援に取り組む企業を応援！

結婚や出産、育児を理由に離職した方を再雇用した事業主に一人あたり最大 50 万円を助成します。(23 年度から対象を千人以下の事業主に拡大)(19,500 千円)

育児休業等を取った人の代替要員を確保した事業主に一人あたり最大 100 万円を助成します。(23 年度から製造・運輸・卸売・小売業については支給要件を従業員 50 人以下の事業所に拡大)
(100,000 千円)

地域「孫育て」事業を 全県で展開！

おじいちゃん、おばあちゃん世代が育児や地域の子育て支援活動に積極的に参加いただけるよう、現在の子育て事情や孫育てへの関わり方を学ぶセミナーや、世代交流事業などを全県で展開します。(2,494 千円)



高校生と子どもとのふれあい体験を実施！

県立高校生が玩具や保育教材を製作し、子どもとのふれあい体験を実施します。

実施校：おもちゃ交流(13校)、絵本交流(23校)、スポーツ交流(11校)、英語交流(7校)
(14,012 千円)



大学生による「学生 子ども応援隊」を立ち上げ！

子どもたちを支援するボランティア活動のための研修会の開催や、活動の場等の情報提供などの仕組みづくりを行います。

活動場所：子どもの冒険ひろば、
児童養護施設 など
(1,990 千円)

こども家庭センターに 心理担当職員を増員！

中央・西宮・川西・姫路の各こども家庭センターに心理担当職員を配置(7名)し、虐待をした親や家族へのアセスメント(診断・評価)を行う体制を強化します。(17,638 千円)

こども家庭センター3か所を建て替え！

児童虐待相談の増加や深刻化に対応するため、築40年以上経過し、老朽化が進んでいる西宮、姫路、豊岡の3つのこども家庭センターを建て替えます。(1,018,769 千円)

児童家庭支援センターを新たに 阪神北地域に設置！

児童養護施設に付設し、24時間体制で相談に応じる児童家庭支援センターを阪神北地域に設置します。(5か所→6か所)
(56,106 千円)

(問) 県少子対策課 078-362-4183

「新ひょうご子ども未来プラン プログラム 2011」を推進

県少子対策本部は、県の予算案の発表にあわせ、23年度の少子対策・子育て支援の取組をまとめた「新ひょうご子ども未来プラン プログラム 2011」を発表しました。

同プログラムでは、「良きおせっかい社会による協働の少子対策・子育て支援」をめざし、個々の家庭状況に応じた子育て支援サービスの利用促進や、まちぐるみの子育て支援の推進などに向けた県の主な施策を、新規・拡充事業を中心に、わかりやすく掲載しています。詳しくは下記まで。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/contents/000173103.pdf>

(問) 県少子対策課 078-362-4183

新ひょうご子ども未来プラン プログラム2011の推進

～良きおせっかい社会による協働の少子対策・子育て支援～

平成22年度の県の出生数は前年比111人増の48,541人となりました。これにより、H18～H22の出生総数は245,055人となり、前プランの出生数目標をほぼ達成しました。

H18	H19	H20	H21	H22	前年比
49,573人	49,289人	49,222人	48,430人	48,541人	+0.23%

県では、引き続き、平成22年度から26年度を計画期間とする「新ひょうご子ども未来プラン」に沿って年度別の行動プログラムを策定し、社会情勢の変化や新たな課題に対応した取組を進めます。

「プログラム2011」では、「良きおせっかい社会による協働の少子対策・子育て支援」をめざし、こども医療費助成の拡充や、子育て家庭の個別相談にのる「まちかど子育て相談員」の養成、子育て支援情報の拠点となる「子育て情報楽屋」の新設に加え、児童虐待防止対策として、こども家庭センターの環境整備・体制強化や児童家庭支援センターの増設等にも取り組むなど、地域団体・NPO、企業、職域団体・市町等と協働し、集中的な少子対策・子育て支援を進めます。

取組の6つの柱

- I 子どもを産み育てる
 - ・「まちかど子育て相談員」等による個々の家庭状況に応じた子育て支援サービスの利用促進
 - ・「まちの子育てひろば」「乳幼児子育て応援事業」等在宅の子育て家庭支援の充実強化
 - ・乳幼児ハイリスク家庭等の早期発見・対応や悪化による情報提供・指導など支援の強化
- II 子どもの成長を支える
 - ・保育所、幼稚園、認定こども園の拡充
 - ・こども医療費助成制度の拡充
 - ・放課後児童クラブの拡充による小1の登校対策の一層の強化
- III 豊かな人間性を育む
 - ・「学生子ども応援隊」や「高校生子どもとのふれあい支援事業」など高校生・大学生の子育て体験の拡充
 - ・「子どもの冒険ひろば」「若者ゆうゆう広場」の一層の充実・推進
- IV 若者の自立を支える
 - ・「若者ごと倶楽部」など若年求職者の就業支援
 - ・「ひょうご縁結びプロジェクト」による出会い・結婚支援の本格実施
- V 子育てと仕事の両立を支援する
 - ・ひょうご仕事と生活センターのワンストップ相談、相談・実践支援、各種助成事業の推進
 - ・「女性就業いきいき応援事業」等再就業への支援
- VI 「良きおせっかい社会」による家庭応援
 - ・子育て支援情報の拠点となる「子育て情報楽屋」など、まちぐるみの子育て支援の推進
 - ・「地域「孫育て」全県推進事業」など祖父母世代による子育て支援の推進
 - ・地域団体、職域団体との協働による子育て支援拡充
 - ・こども家庭センターの環境整備や児童家庭支援センターの増設等、児童虐待防止対策の充実強化
 - ・DV防止及び被害者支援の充実強化

女性経営者の視点から少子対策・子育て支援を考える シンポジウム「輝いて―兵庫・神戸から―」を開催

神戸商工会議所「女性経営者倶楽部」の主催によるシンポジウムが2月18日、神戸市内で開催され、県内の女性経営者など約700人が参加しました。



作家の桐島洋子氏が「子育てほどおもしろい『旅』はない」と題して基調講演を行い、「多少の逆境の中で子育てを行う方が、親子共にたくましく成長できる」と自身の経験を踏まえつつ来場者に語りかけました。

また、交流会では、井戸知事が「婚活支援や男女の新たな出会いを積極的にサポートしていきたい」とあいさつしました。

(問) 県経営商業課 078-362-3313

食育シンポジウムを開催(2/1)

県、県保育協会、県私立幼稚園協会は、食育や地産地消の推進を目的とするシンポジウムを2月1日、神戸市内で開催し、関係者等約260人が参加しました。

「子どもの未来と食育」と題して基調講演を行った保田茂神戸大学名誉教授からは、「子どもの頃からの米食が成人病の予防にも効果がある」というデータが紹介されたほか、4か所の保育所・幼稚園から取組事例の発表が行われました。



(問) 県児童課 078-362-3199

生活習慣づくりに向けた取組を発表 「子どもたちの輝く未来を創るひょうごの大会」

県では、子どものよい生活習慣づくりに向けた取組を進めています。

2月20日には、県立こどもの館で、今年度モデル実践に取り組んだ保育園、小学校からの発表と、基調提案・パネルディスカッションが行われ、「野菜の栽培や収穫、調理を楽しみ、『食』への関心が高まったことで、好き嫌いや給食の食べ残しが減った」など取組成果が報告されました。

また、「手づくり絵本コンクール」の表彰も行われ、金澤副知事より知事賞を受賞した姫路市立増位小学校2年の野元武斗君ら2人に賞状と盾が手渡されました。



(問) 県立こどもの館 079-267-1153

第8回全国おやしサミットinひょうご(2/12)

男性の子育てや地域活動への参画促進をめざした同サミットが2月12日、姫路市のイーグレひめじで開催され、全国から約350人が参加しました。

基調講演と6つの分科会が行われ、県内外のおやじの会の代表が子どもたちの体験活動や見守り活動などの取組を報告しました。



第6分科会では「ダンボールでダイナミックあそび」と題したプログラムが行われ、体験した参加者からは「安全で実践しやすいので、是非活動に使っていきたい」などの感想が寄せられました。

(問) 県男女家庭室 078-362-3169

参加者募集



子育て応援元気アップ賞表彰式と「子どもの健康と環境」についての講演

県立こども病院名誉院長の中村肇先生による講演「子どもの健康と環境」を開催します。

なお、当日は、先進的な地域の子育て支援活動に取り組む企業・団体等を表彰する「子育て応援元気アップ賞」の表彰式が行われます。

◇日時：平成23年3月25日（金）14:00～15:30

◇場所：兵庫県公館第1会議室
（神戸市中央区下山手通4-4-1）

◇申込：氏名、電話を記載の上、少子対策課へFAX（078-362-3011）またはメールで3/11（金）までにお申込ください（参加無料）

◇問合せ：県少子対策課（電話078-362-4232、
メール shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp）

第19回 ひょうごの食シンポジウム ～あらためて食の大切さを考える～

JA兵庫中央会では、食と健康の大切さについて考えるシンポジウムを開催します。当日は、有機農産物を使ったお弁当も販売します。（要事前申込）

◇日時：平成23年3月12日（土）
午前の部（10:30～12:00）
講演「母乳育児は、“日本の米文化”を守る」

午後の部（13:00～16:00）
講演「“平成の開国”とおさかな事情」

◇場所：兵庫県農業共済会館11階大ホール
（神戸市中央区海岸通1番地）

◇定員：200人（先着順）（締切：3/4（金）必着）

◇申込：氏名、住所、電話、FAX、年齢、職業、JA会員・非会員の別、弁当の要不要を記載の上、JA兵庫中央会までメール（gga00620@nifty.com）またはFAX（078-333-6503）

◇参加費：1500円（弁当不要の場合は500円）

◇問合せ：JA兵庫中央会（電話078-333-6056）

<http://homepage3.nifty.com/syokuken/>



地域団体・NPO・企業等の活動紹介

子育てほっとステーション「つくしんぼ」（川西市）

能勢電鉄畦野（うねの）駅前にある同施設は、空き店舗を改修して新しく開設された、親子でくつろげるスペースです。店舗からも近く、授乳コーナーやおむつ交換台、給湯設備も整っているため、買い物途中の休憩も兼ねて、毎日、多くの親子が訪れています。

毎週木曜日には「まちの子育てひろば」として、親子クッキングやベビーマッサージなども行っています（要事前申込）。

利用時間は、毎週月曜から金曜の9時～17時です。（祝日除く）

お気軽にお立ち寄りください。



（問）特定非営利活動法人つくしんぼ保育所
072-794-0602

◇ 頑張る企業 ◇

社内に保育施設を設置し仕事と子育ての両立を支援

株式会社エヌピーシー（神戸市）

（代表者：尾野俊朗 事業内容：人材派遣業）

同社は、幼い子どもを育てている従業員が、安心して子育てと仕事を両立できるよう、平成23年2月に事業所内保育施設「NBCキッズクラブ」を開設しました。



駅から徒歩1分のビルの1フロアを借り上げ設置した同施設は、県の「駅前等設置型」補助の適用第1号として賃料の一部が助成され、ゆとりとした保育室を備えています。

また、夜11時までの延長保育も行っているため、変則勤務で退社が遅くなる従業員から大変喜ばれています。

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部（健康福祉部こども局少子対策課）：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です！

子育てに役立つ身近な情報を月3～4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp（QRコードからも読取可）に空メールを送付し登録してください。

